

■ みやぎ地域エネルギー合同会社第3期決算概要  
(2019年2月1日～2020年1月31日)

当会計年度において、第一号ソーラーの営業運転開始により発電収入は順調に推移し、概ね計画どおりの収益を確保することができました。また、宮城県からの補助金4,220,000円を資産の圧縮処理に充当したことから、固定資産は7,444,412円となりました。この結果、当期の純利益は59,311円、繰越利益剰余金は△127,459円となりました。

前期までの営業準備期間における損失は残っていますが、今後は固定資産（定率法を採用）の減価償却額も低減していくことから、今期並みの発電量で推移すれば早期に解消できるものと見込んでおります。

また、流動資産には消費税の還付予定金902,494円が含まれており、事業運転資金ならびに将来の社債返済に対する資金も計画どおり順次確保できる見込みです。

<貸借対照表の要旨>

2019年1月31日 現在

科目	金額	科目	金額
流動資産	3,434,829	流動負債	106,700
固定資産	7,444,412	固定負債	9,800,000
		負債合計	9,906,700
		資本金	1,100,000
		利益剰余金	△127,459
		純資産合計	972,541
資産合計	10,879,241	負債・純資産合計	10,879,241

<損益計算書の要旨>

科目	金額
売上高	1,583,192
売上総利益	1,583,192
営業利益	269,750
経常利益	166,014
税引前当期純利益	166,014
法人税、住民税及び事業税	106,703
当期純利益	59,311